全公連メルマガ 2026.9.1 号<50>

http://japhsa.jp/event/file/mm/mm20260901.pdf

加盟学会の皆様

加盟学会情報をお知らせします。
加盟学会会員の方への配布をお願いいたします。

全公連 世話人代表 磯 博康

HEAD News

■日本ワクチン学会 http://www.jsvac.jp/
◆第 30 回日本ワクチン学会・第 67 回日本臨床ウイルス学会 合同学術集会
https://shinsen-mc.co.jp/vac-cv2026/index.html
会期:**2026 年 9 月 26 日(土)～ 9 月 27 日(日)**
会場:朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター　〒950-0078　新潟市中央区万代島 6-1
会長:第 30 回日本ワクチン学会 会長　齋藤 昭彦　新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野 教授／第 67 回日本臨床ウイルス学会 会長　齋藤 玲子　新潟大学大学院医歯学総合研究科 国際保健学分野 教授

■一般社団法人日本国際保健医療学会 https://jagh.or.jp/
学会からのメッセージ(2024 年 1 月 23 日)
2024 年 1 月 23 日に発出しました「世界中で紛争が引き起こしている「負の連鎖」を断ち切ろう」という声明について、ご報告します。この声明(メッセージ)の内容は、以下リンクからアクセス可能です。
https://jagh.or.jp/blogs/blog_entries/view/7/f819575e492b95ea4fa7798572a941ac?frame_id

■一般社団法人日本口腔衛生学会 http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/
学会声明/提言/意見・回答 https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/
学会声明
「う蝕予防のためのフッ化物応用のさらなる推奨について」(2025.09.10)
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20250910.pdf
生活習慣病予防と歯科口腔保健特定健診・特定保健指導における歯科口腔保健の展開
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20230519.pdf
感染症法における新型コロナウイルス感染症の5類移行後の集団フッ化物洗口のさらなる推進に ついて https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20230511.pdf?20230515

■日本小児科学会 http://www.jpeds.or.jp/
◆学会からの提言・主張 2026 年
吸入ステロイド薬・pMDI 製剤の供給不足に伴うドライパウダー製剤(DPI)使用のお願い
◆学会からの提言・主張 2025 年
自律的意思決定困難な患者の成人移行支援のあり方に関する提言
乳児期のビタミン D 欠乏の予防に関する提言
2024 年改訂「寝ている赤ちゃんのいのちを守るために」(こども家庭庁)に関する見解
わが国のチャイルド・デス・レビュー(Child Death Review; CDR)の確立に向けた提言

■日本公衆衛生看護学会 https://japhn.jp/
◆第 15 回日本公衆衛生看護学会学術集会　https://japhn15.yupia.net/
開催日:2026 年 12 月 19 日(土)～20 日(日)
(オンデマンド配信: 2027 年 2 月 20 日(土)まで予定)
テーマ:多分野共創が拓く VUCA 時代の公衆衛生看護
ー異なる専門知を融合し、健康社会を創造するー

会場：神戸国際会議場（兵庫県）
会長：和泉比佐子（神戸大学大学院医学系研究科）
【演題登録締め切りを延長します】
演題登録およびワークショップ登録（先着順につき、枠が埋まり次第ワークショップの登録終了）の締め切りを **9 月 7 日（月）**まで延長します。
※熊本県と千葉県に勤務施設がある方に関しては、演題登録のみ **9 月 18 日（金）12 時**まで延長いたします。
参加登録期間：前期：2026 年 6 月 1 日（月）～ **9 月 30 日（水）**＜講演集冊子申込は前期期間のみ＞
後期：2026 年 11 月 9 日（月）～2027 年 2 月 20 日（土）

【公開】日本公衆衛生看護学会の成果物（2026 年）はこちらです。ぜひご活用ください。
◆公衆衛生看護の定義（2026） https://japhn.jp/activities/about_phn/term

◆「妊婦および母親に対する看護職による家庭訪問に関する実践ガイドライン」
https://japhn.jp/news/6800.html

全国公衆衛生関連学連絡協議会 http:/japhsa.jp/

■ 報告―全公連合同シンポジウム http://japhsa.jp/event/index.html

◆ 全公連の基本理念 http:/japhsa.jp/

◆ 2026 年度第 2 回総会 2027 年 3 月 6 日（土）
2026 年度学術集会 2027 年 3 月 6 日（土）・7 日（日）
会場（総会・学術集会）：国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局
グローバルヘルス政策研究センター会議室 〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

日本疫学会 https://jeaweb.jp/

◆第 37 回日本疫学会学術総会 https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jeatokyo37
日程：2027 年 2 月 3 日（水）～ 2 月 5 日（金）
会場：シェーンバッハ・サボー(砂防会館別館)
テーマ：次世代へつなぐ疫学エボリューション
会長：井上真奈美（聖路加国際大学大学院 研究科長）
チラシ：https://jeaweb.jp/files/activities/annual_meetings/37th_AnnualMeeting_flyer_20260515.pdf
演題登録期間 2026 年 8 月 3 日（月）12:00- **9 月 4 日（金）23:59**

一般社団法人日本地域看護学会 https://www.jachn.net/

◆「地域看護に活用できるインデックス」https://www.jachn.net/journal/katsuyou.html
学会誌にて連載中です。

◆第 29 回学術集会のお知らせ https://jachn29.yupia.net/
テーマ：希望ある未来を切り拓く地域看護の新機軸
会期：**2026 年 9 月 5 日（土）・6 日（日）** 今週末です！ オンデマンド配信～10 月 31 日（土）
会場：幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区中瀬 2 丁目 1－1）
学術集会長：佐藤紀子（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 教授）
参加登録期間： 後期 2026 年 7 月 13 日(月) ～ 10 月 31 日(土)

日本公衆衛生看護学会 https://japhn.jp/

◆第 15 回日本公衆衛生看護学会学術集会 https://japhn15.yupia.net/
開催日：2026 年 12 月 19 日（土）～20 日（日）
（オンデマンド配信： 2027 年 2 月 20 日（土）まで予定）

テーマ：多分野共創が拓くVUCA時代の公衆衛生看護
ー異なる専門知を融合し、健康社会を創造するー
会場：神戸国際会議場（兵庫県）
会長：和泉比佐子（神戸大学大学院医学系研究科）
【演題登録締め切りを延長します】
演題登録およびワークショップ登録（先着順につき、枠が埋まり次第ワークショップの登録終了）の締め切りを**9月7日（月）**まで延長します。
※熊本県と千葉県に勤務施設がある方に関しては、演題登録のみ**9月18日（金）12時**まで延長いたします。
参加登録期間：前期：2026年6月1日（月）～ **9月30日（水）**＜講演集冊子申込は前期期間のみ＞
後期：2026年11月9日（月）～2027年2月20日（土）

最近の日本公衆衛生看護学会の成果物はこちらです。ご活用ください。
■公衆衛生看護の定義（2026） https://japhn.jp/activities/about_phn/term
■「妊婦および母親に対する看護職による家庭訪問に関する実践ガイドライン」
https://japhn.jp/news/6800.html

日本栄養改善学会 https://jsnd.jp/

◆少子超高齢化が進展する日本社会の健康課題の解決に寄与すべく、科学的根拠に基づく活動を積極的に展開しています。学会案内：https://jsnd.jp/pdf/nyukai_leaflet.pdf

◆第73回日本栄養改善学会学術総会 https://kaizen73.umin.jp/
期日：**2026年9月11日（金）～13日（日）**
【オンデマンド配信期間】**2026年9月18日（金）15:00**～10月19日（月）23:59
会場：別府大学 石垣キャンパス （大分県別府市北石垣82）
テーマ：ウェルビーイングを描く栄養学 ー多様な食を支える科学と実践の融合知ー
会長：高松 伸枝（別府大学 教授）
通常参加登録：7月31日（金）17時～**9月25日（金）正午**

日本ワクチン学会 http://www.jsvac.jp/

X(旧 Twitter)アカウント https://twitter.com/jsvac_kouho

■見解・提言ページ https://www.jsvac.jp/kenkai_teigen.htm
2026/06/15　65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（第8版一部修正）
2026/04/17　日本ワクチン学会からの一般の方々向けの文書
「麻疹（はしか）が流行しています！」を公開しました
2026/02/16　64歳以下のハイリスク者に対する肺炎球菌ワクチン接種の考え方（第4版）
2025/12/09　成人のRSウイルスワクチンに関する見解

◆第30回日本ワクチン学会・第67回日本臨床ウイルス学会 合同学術集会
https://shinsen-mc.co.jp/vac-cv2026/index.html
テーマ：Explore. Dream. Discover. ― ウイルス・ワクチン学の輝ける未来のために ―
会期：**2026年9月26日（土）～ 9月27日（日）**
会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター　〒950-0078　新潟市中央区万代島6-1
会長：
第30回日本ワクチン学会 会長　齋藤 昭彦　新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野 教授
第67回日本臨床ウイルス学会 会長
齋藤 玲子　新潟大学大学院医歯学総合研究科 国際保健学分野 教授
事前参加登録：2026年6月10日（水）～ **9月11日（金）23:59**
当日参加登録：**2026年9月12日（土）0:00 ～ 9月27日（日）16:00**

日本母性衛生学会 http://www.bosei-eisei.org/

◆日本母性衛生学会デジタルアーカイブス http://archives.bosei-eisei.org/
最新公開動画 － 2025 年度市民公開講座：その人らしさを大切にする「包括的性教育」

◆第 67 回日本母性衛生学会総会・学術集会 https://supportoffice.jp/jsmh67/
テーマ: 琵琶湖からみんなに届け 生涯健康
会期:2026 年 10 月 9 日(金)～10 日(土)
会場:大津市民会館ならびに琵琶湖ホテル(滋賀県大津市)
会長:越山 雅文(滋賀県立大学人間看護学研究院 大学院教授)
開催形式::ハイブリッド開催(現地開催と一部オンデマンド配信)
早期参加登録 6 月 1 日(月)12:00～**9 月 15 日(火)**
通常参加登録 **9 月 16 日(水)**～11 月 30 日(月)17:00

◆「2025 年度市民公開講座:その人らしさを大切にする「包括的性教育」」の動画を追加いたしました。
https://archives.bosei-eisei.org/check.php?g=2025SHIMIN&id=0

日本子ども健康科学会 https://jshschild.jp/

◆第 7 回日本子ども健康科学会オンラインセミナー
「子どもの『できない』をどう捉えるか ―『できる』を引き出す環境調整とスモールステップ ―」と題し、オンラインセミナーを開催いたします。
開催日時:**2026 年 9 月 16 日(水)19:00～20:00**
開催形式:オンライン(Zoom) ※アーカイブ配信はございません。
講師:辻 秀至先生(こそだて lab すいっち代表)
講演タイトル:子どもの『できない』をどう捉えるか ―『できる』を引き出す環境調整とスモールステップ―
・定員:先着 100 名(定員に達し次第、受付終了となります)
※詳細・申し込み:日本子ども健康科学会ホームページへ
https://jshschild.jp/2026/08/21/%e7%ac%ac7%e5%9b%9e%e6%97%a5%e6%9c%ac%e5%ad%90%e3%81%a9%e3%82%82%e5%81%a5%e5%ba%b7%e7%a7%91%e5%ad%a6%e4%bc%9a%e3%82%aa%e3%83%b3%e3%83%a9%e3%82%a4%e3%83%b3%e3%82%bb%e3%83%9f%e3%83%8a%e3%83%bc%e3%81%ae/

◆第 28 回 日本子ども健康科学会学術大会 https://kodomokennkoukagaku28.jimdosite.com/
会期:2027 年 3 月 6 日(土)～ 7 日(日)
会場:大阪南医療センター〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町 2-1
テーマ:子どもたちを輝かせよう－子どもの健康を支える、その先への想いと知恵 －
大会長:井上 徳浩(大阪南医療センター小児科医長)
※詳細は決定次第、ホームページ・各種 SNS に掲載いたします

◆子ども健康科学会(子どもの心・体と環境を考える会) 趣意と呼びかけ
https://jshschild.jp/%e8%b6%a3%e6%84%8f%e3%81%a8%e5%91%bc%e3%81%b3%e3%81%8b%e3%81%91/

日本小児科学会 http://www.jpeds.or.jp/

◆学会からの提言・主張 2025 年
わが国のチャイルド・デス・レビュー(Child Death Review; CDR)の確立に向けた提言
https://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=163

◆第 20 回思春期医学臨床講習会 https://www.jpeds.or.jp/seminar/session/20003.html
会期:2026 年 10 月 18 日(日)9:30～16:25
会場:アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪

◆第 130 回日本小児科学会学術集会 https://www.congre.co.jp/130jps/
テーマ:まもり、すすみ、めぐりあう ～世代を超えて知をつなぐ小児科学が描く未来～
会頭:滝田 順子(京都大学大学院医学研究科 発達小児科学 教授)

会期：2027 年 4 月 27 日（火）～29 日（木・祝）
会場：国立京都国際会館
演題募集期間 2026 年 8 月 5 日（水）正午～**9 月 17 日（木）正午**

◆小児科関連イベントページ https://www.jpeds.or.jp/seminar/post-148713.html

一般社団法人日本思春期学会 https://adolescence.gr.jp/

◆第 45 回 日本思春期学会総会・学術集会 https://jsa2026.jp/
学会長：渡邉　多恵子（淑徳大学 看護栄養学部 看護学科/大学院看護学研究科 教授）
会期：2026 年 8 月 29 日(土)～30 日(日)
会場：幕張メッセ（千葉県千葉市）
テーマ：思春期学のみらい～共に創る支え合いの社会をめざして～
Web 参加登録受付期間：7 月 10 日（金）～**9 月 30 日（水）17 時**まで
（性教育認定講師講習会の参加登録は　**9 月 25 日（金）15 時**まで）
オンデマンド：**2026 年 9 月 10 日（木）**～10 月 7 日（水）17 時

日本健康学会 https://jshhe.org

日本健康学会は,広い意味での「健康」に関わるあらゆる課題について議論する開かれた学問の 場を目指しています.従来の保健・医療の枠にとらわれず,自然科学,人文・社会科学の様々な領 域で「健康」に関心を持つ方が,広い意味での科学的見地から,互いに意見交換できる場でありた いと考えています.

◆第 91 回日本健康学会総会
https://sites.google.com/view/jshhe2026/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0
開催日：2026 年 11 月 14 日(土)・15 日(日)
会　場：宮城大学大和キャンパス（対面開催のみ）
大会長：萩原 潤（宮城大学看護学群）
演題申し込みの締め切りは 10 月 2 日（土）
事前参加申し込みの締め切りは 10 月 31 日（土）

◆ウェブサイト URL 変更のお知らせ
　このたび、本学会公式サイトは URL を https://jshhe.com から **https://jshhe.org** に変更いたしました。
　別サイトや各媒体において本サイト URL をリンク・周知されている場合は、大変お手数ですが適宜 URL の変更をお願いいたします。

日本医療情報学会 https://www.jami.jp/

◆第 46 回　医療情報学連合大会（第 27 回日本医療情報学会学術大会） https://jcmi46.org/
テーマ：健康情報の適切・適時・容易な共有を
会期：2026 年 11 月 12 日（木）～11 月 15 日（日）
会場：札幌コンベンションセンター（札幌市）
大会長：渡邉　直（医療情報システム開発センター）
参加登録期間：事前参加登録：**2026 年 9 月 1 日（火）**～10 月 23 日（金）23:59
　　直前・当日参加登録：2026 年 10 月 30 日（金）～11 月 15 日（日）23:59

一般社団法人日本学校保健学会 http://jash.umin.jp/

◆一般社団法人日本学校保健学会第 72 回学術大会　https://conks.jp/jash72/index.html
開催期日：2026 年 11 月 13 日（金）、14 日（土）、15 日（日）
会場：福岡女子大学（福岡県福岡市東区香椎）
学術大会長：松浦賢長（福岡県立大学　教授）

メインテーマ：ワンヘルスと学校保健
参加登録：通常参加登録：**2026 年 9 月 1 日(火)**～2026 年 11 月 15 日(日)

日本産業衛生学会 https://www.sanei.or.jp/

◆第 36 回日本産業衛生学会全国協議会 https://www.kwcs.jp/sanei-kyogikai2026/index.html
テーマ：ここから始まった感謝の旅路　　想いを胸に皆で集いあう
会期：2026 年 11 月 5 日-7 日
会場：倉敷市民会館、倉敷市芸文館、倉敷アイビースクエア
企画運営委員長：伊藤　達男（川崎医科大学　衛生学教室）
事前参加登録受付期間：
後期参加登録：**2026 年 9 月 4 日（金）**～オンデマンド配信終了日まで（予定）

◆第 100 回日本産業衛生学会　https://convention.jtbcom.co.jp/sanei100/index.html
テーマ：変わる職場、変わらぬ使命-産業衛生 100 回大会からの挑戦-
会期：2027 年 5 月 26 日（水）～5 月 29 日（土）
会場：北九州メッセ、北九州国際会議場
企画運営委員長：堀江　正知（産業医科大学学長）

一般社団法人 日本医療・病院管理学会 https://www.jsha.gr.jp

◆日本医療・病院管理学会は、医療・病院管理学の研究促進と研究交流を目的とした学際的学術団体です。学会案内：https://www.jsha.gr.jp/admission/join/

◆認定フェロー：https://www.jsha.gr.jp/certification-fellow/

◆認定研究会：https://www.jsha.gr.jp/news/member/n231106/

◆第 64 回日本医療・病院管理学会学術総会　https://64jsha.mq-con.jp/
学術総会長：小池　創一（自治医科大学 地域医療学センター 医療政策・管理学部門 教授）
会期：2026 年 10 月 24 日（土）～ 10 月 25 日（日）
会場：自治医科大学（栃木県下野市）
テーマ：2040 年に向けた医療の再構築― 地域・現場・政策の交点で―
地域医療や介護の持続可能性を支える制度とマネジメントの展望
事前参加登録期間：2026 年 6 月 1 日（月）～ 10 月 1 日（金）
通常参加登録期間：2026 年 10 月 2 日（土）～ 2027 年 1 月 31 日（日）
懇親会申込期間：2026 年 6 月 1 日（月）～ 10 月 15 日（木）
皆様ふるってご参加ください。

一般社団法人日本行動医学会 https://plaza.umin.ac.jp/jsbm/

■行動医学とは、行動科学、心理学、生物学、心身医学、社会学、人類学、公衆衛生学等に関する知識と技術を集積・統合した学際的な学問です。
　行動医学の知識と技術は、個人の行動変容から社会環境の整備に至るまで様々な領域に役立てられており、疾病の治療はもちろんのこと、疾病の予防や健康の増進、そしてより良い社会づくりにも貢献しています。

◆第 33 回 日本行動医学会学術総会　https://jsbm33.com/
会期：2026 年 11 月 28 日（土），29 日（日）
会場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)〒770-0835 徳島県徳島市藍場町 2 丁目 14 番地
テーマ：ゲンテンカイキ　行動医学のキホンに立ち返る
会長：古川 洋和（鳴門教育大学大学院学校教育研究科 准教授）
事前参加登録期間：2026 年 8 月 1 日（土）～　2026 年 11 月 6 日（金）

一般社団法人日本エイズ学会 https://jaids.jp/

日本エイズ学会はエイズと HIV に関する諸問題の研究の促進、会員相互の交流および知識の普及と啓発を図ることを目的としています。

◆第 40 回日本エイズ学会学術集会・総会　https://www.c-linkage.co.jp/aids40/index.html
会期：2026 年 11 月 20 日（金）～22 日（日）
会長：和田　秀穂
（川崎医科大学総合臨床医学 特任教授　川崎医科大学附属病院 特別院長補佐／エイズ治療センター長）
テーマ：つどう。つながる。多様な力を未来へつむぐ。
会場：　岡山コンベンションセンター　〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町 14-1
　　岡山県医師会館　〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町 19-2
開催形式：現地開催＋オンデマンド配信（一部セッションを除く）
参加登録期間：　早期登録 2026 年 8 月 17 日(月)～10 月 21 日(水)
　　通常登録 2026 年 10 月 28 日(水)～2027 年 1 月 13 日(水)

日本公衆衛生学会 http://www.jsph.jp/

◆お蔭様で、普通会員数が 10,097 人（6 月 1 日現在）と 1 万人を超えました。その他、学生会員数は 199 名、協力会員数は 130 名です。

◆日本公衆衛生学会 協力会員の募集について
　日本公衆衛生学会では、この度学会の活動に興味を持つ者に対し、会費を免除することで垣根を下げて、試みに参加する機会を付与することを目的とし、協力会員の制度を実施しております。
　対象は、全公連加盟学会の会員、社会医学系専門医協会構成学会の会員および国または地方公共団体の職員の方で当学会に入会したことがない方になります。
　申込は日本公衆衛生学会 HP よりお願いいたします。https://www.jsph.jp/trial_member.html

◆第 85 回（2026 年）日本公衆衛生学会総会　https://www.c-linkage.co.jp/jsph85/
日時：2026 年 10 月 29 日（木）～31 日（土）
テーマ：公衆衛生の向上　もう一歩前に進もう－関連諸科学からのアプローチ－
場所：京王プラザホテル（新宿）（東京都新宿区西新宿 2 丁目 2-1）
　　新宿 NS ビル（東京都新宿区西新宿 2 丁目 4-1）
学会長：谷川　武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学）
※参加登録および参加費支払いによりオンデマンド配信の視聴が可能になります。

日本性感染症学会 https://jssti.jp/

◆日本性感染症学会 第 39 回学術大会　https://square.umin.ac.jp/sti39/
会期：2026 年 11 月 14 日(土)～11 月 15 日(日)
テーマ：性感染症の未来 ～人跡未踏の世界へ
会場：学術総合センター 一ツ橋講堂〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内
会長：川名　敬（日本大学医学部産婦人科学系 産婦人科学分野 主任教授）

◆日本性感染症学会のピンバッジを作成し、購入申込フォームを掲載しました。（2025.12.23）
https://business.form-mailer.jp/fms/b73ee3bc324534

◆『性感染症 診断・治療ガイドライン 2026』の発刊 について掲載しました。（2025.12.10）
https://jssti.jp/guideline_c.html

◆梅毒診療の基本知識の公開について https://jssti.jp/news_syphilis-medical_guide.html
　2024 年 3 月 4 日から名称を「梅毒診療ガイド」を「梅毒診療の基本知識」に変更し、治療選択肢が増えたことから、最新版の情報を公開しました。

◆梅毒疾患啓発ポスター

「性感染症の”梅毒”から自分と相手を守ろう」https://jssti.jp/pdf/syphilis_aw-poster2023.pdf

◆日本性感染症学会誌 http://sti.b-journal.net/
第 36 巻第4号 https://sti.b-journal.net/index.html?vol=36&no=4 が公開(2026.07.22)
バックナンバーから最新号までのタイトルと著者の情報はどなたでもご覧いただけますが、原稿のHTML、PDF、EPUB3 は性感染症学会の会員のみ閲覧可能です。

◆性感染症予防リーフレット
(2024.11)一般向け「梅毒急増中！セイファーセックスのためにできること」
https://jssti.jp/prevention/leaf/ippanmuke_202411.pdf
(2024.11)高校生向け「性感染症予防について知っておこう！」
https://jssti.jp/prevention/leaf/koukouseimuke_202411.pdf
(2024.11)外国人向けやさしい日本語「性感染症からあなたを守るためにできること」
https://jssti.jp/prevention/leaf/for_foreigners_easy-jp_202411.pdf
(2023.08)外国人向けやさしい日本語「新型コロナウイルス感染症の経験を役立てよう～性感染症にならないために～」 https://jssti.jp/prevention/leaf/covid19_easy-jp.pdf
(2022.12)風俗店利用者向け「コロナ対策にプラス！安心して風俗を楽しむためにできること」
https://jssti.jp/prevention/leaf/n240621.pdf
(2022.12)風俗店従業員向け「コロナ対策にプラス！安心して働くためにできること」
https://jssti.jp/prevention/leaf/n240621-2.pdf
(2022.03)高校生向け「コロナ対策と一緒、性感染症予防について知っておこう！」
https://jssti.jp/prevention/leaf/koukouseimuke.pdf
(2022.03)一般向け「コロナ対策にプラス！セイファーセックスのためにできること」
https://jssti.jp/prevention/leaf/ippanmuke.pdf

◆緊急セミナー https://jssti.jp/seminar.html
「梅毒を知る～梅毒の急増を止めるために～」
公開方法:一般社団法人 日本性感染症学会ホームページ
主催:一般社団法人 日本性感染症学会
後援:厚生労働省・厚生労働省科学研究費補助金「三鴨班」・一般社団法人 日本感染症学会
対象:医師等

一般社団法人日本国際保健医療学会 https://jagh.or.jp/

■学会からのメッセージ(2024 年 1 月 23 日)
2024 年 1 月 23 日に発出しました「世界中で紛争が引き起こしている「負の連鎖」を断ち切ろう」という声明について、ご報告します。この声明(メッセージ)の内容は、以下リンクからアクセス可能です。
https://jagh.or.jp/blogs/blog_entries/view/7/f819575e492b95ea4fa7798572a941ac?frame_id

◆日本国際保健医療学会ニュースレター Vol.3 発行のお知らせ
https://jaih.jp/index.php?action=pagesviewmain&activeaction=bbs_viewmainpost&postid=66&blockid=45#_45

◆第 41 回日本国際保健医療学会学術大会 https://pco-prime.com/gh2026/
グローバルヘルス合同大会 2026 Joint Congress on Global Health 2026
第 67 回 日本熱帯医学会大会・第 41 回 日本国際保健医療学会学術大会
第 30 回 日本渡航医学会学術集会・第 11 回 国際臨床医学会学術集会
会期:2026 年 11 月 27 日(金)～29 日(日)
会場:大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)
大会長:深井 穫博(深井保健科学研究所)
テーマ:分かち合う価値 ～持続可能な地球の未来へ～
参加登録:事前登録 11 月 20 日(金)まで
通常・当日 11 月 21 日(土)以降
ポスター:PDF (1.8MB)https://jagh.or.jp/wysiwyg/file/download/1/202

一般社団法人日本循環器病予防学会 https://www.jacd.info/

Facebook https://www.facebook.com/jscdp1966
X(旧 twitter) https://twitter.com/jscdp1966

◆保健指導レベルアップセミナー http://www.jacd.info/hokenshidou-seminar/2026
テーマ:循環器病予防を担うメディカルスタッフのための実践的アプローチ
— 評価・支援・行動変容を学ぶ —
2026 年 10 月 17 日(土) 保健指導のための基礎知識
2026 年 11 月 7 日(土) 検査結果とリスクアセスメント、支援方針
2027 年 1 月 30 日(土) 生活習慣病と栄養・食生活の評価と支援
2027 年 3 月 27 日(土) 効果的な保健指導のために
※3 月開催分を除き、Web(Zoom)で開催します。3 月は対面開催(大阪市内を予定)です。
・受講費、申込方法などの詳細はホームページをご確認ください。

◆日本循環器病予防学会誌総説シリーズ https://www.jacd.info/library/jjcdp-review
循環器病予防に関する総説 51 編をフリーで公開しています。是非ご活用下さい。

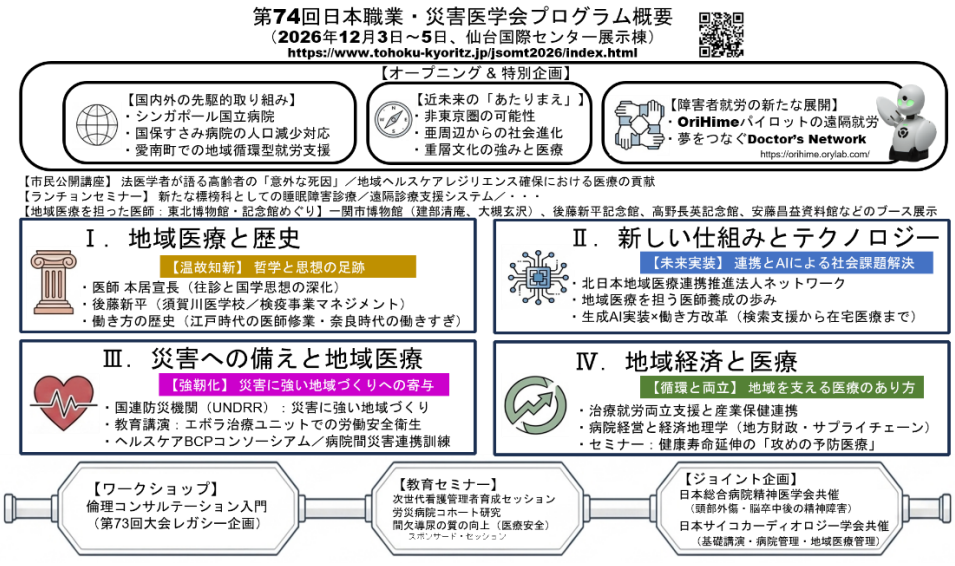
◆日本高血圧学会・日本循環器病予防学会・日本動脈硬化学会認定
「循環器病予防療養指導士」 https://www.jpnsh.jp/sidousi/
脳卒中や循環器病予防・改善のための多職種の専門家を養成するための認定制度。
・病棟経験がない方でも受験できます。
・最短で 2027 年 3 月の認定試験の受験が可能です。
受験申請期間:2026 年 10 月 21 日(水)〜11 月 20 日(金)
・受験資格など詳細はホームページをご確認下さい。

一般社団法人日本職業・災害医学会 http://www.jsomt.jp/

◆本学会は、職業医学および災害医学の研究および教育ならびに、これに関連する諸制度におけ る医学的基準の研究により、医学・医療の発展に寄与することを目的としています。

◆日本職業・災害医学会会誌 http://www.jsomt.jp/journal/index.html

◆第 74 回日本職業・災害医学会学術大会 https://www.tohoku-kyoritz.jp/jsomt2026/index.html
テーマ:地域の未来は決定づけられているものではない
サブテーマ: 地域医療と歴史、災害への備えと地域医療、地域経済と医療
地域医療構想と地域医療を担う医師養成、など
会期:2026 年 12 月 3 日(木)〜5 日(土)
会場:仙台国際センター展示棟(仙台駅から地下鉄東西線で 3 駅目)
会長:伊藤弘人(東北医科薬科大学医学部医療管理学教室教授)
参加登録期間:事前登録:6 月 1 日(月)〜11 月 29 日(日)
直前・当日登録:11 月 30 日(月)〜12 月 5 日(土)14:00



一般社団法人日本女性医学学会 https://www.jmwh.jp/

◆動画で更年期について分かりやすく解説しています。
YouTube 公式チャンネル https://www.youtube.com/channel/UCTUSFLRYNvbKE2gnpUMqFZA/

◆第 41 回日本女性医学学会学術集会 https://www.kwcs.jp/jmwh41/
会期:2026 年 11 月 28 日(土)～29 日(日)
会場:軽井沢プリンスホテル・ウエスト
学術集会長:岩瀬　明(群馬大学大学院医学系研究科　産科婦人科学　教授)

一般社団法人 日本健康相談活動学会 http://jahca.org/

◆第 23 回学術集会
会期;2027 年 3 月 6 日(土)～7 日(日)
会場:弘前大学
大会長:新谷ますみ(弘前大学)

日本衛生学会 http://www.nihon-eisei.org/

■衛生学はヒト(宿主)－環境－病因を包括的に理解し、健康維持増進を目指す学問です。本学会では、実験研究と疫学研究を有機的に連携し、健康に関する様々な課題の解決に役立て、社会に貢献することを目指しています。2029 年には 100 周年を迎えます。

◆第 97 回 日本衛生学会学術総会 https://www.knt.co.jp/ec/2026/jsh2027/
テーマ:継承と発展 ～衛生学の新たな時代へ～
会期:2027 年 3 月 10 日(水)～12 日(金)
会場:大阪市中央公会堂(大阪市北区中之島 1 丁目 1 番 27 号)
大会長:東 賢一 (近畿大学医学部予防医学・行動科学教室)

一般社団法人日本災害医学会 https://jadm.or.jp/
Facebook https://www.facebook.com/470093469726579?ref=embed_page

◆2027 年度:第 32 回総会・学術集会
会期:2027 年 3 月 18 日(木)～20 日(土)
会場:札幌コンベンションセンター
会長:近藤　久禎(国立病院機構本部 DMAT 事務局)

◆JADM ニュースレターのご案内 https://jadm.or.jp/contents/bulletin/
日本災害医学会では JADM ニュースレターを公開しています。
本学会の事業活動・学生部会活動の他、国内・海外の災害対応レポートなどを掲載しております。会員以外の方でもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

日本健康支援学会 https://kenkousien.com/

■本会は、健康支援とそのシステムに関する研究を推進し、健康の維持増進に寄与すること並びに会員相互の交流を図ることを目的としています。

◆第 28 回日本健康支援学会年次学術大会(第 29 回日本運動疫学会学術総会との合同開催)
会期:2027 年 4 月 23 日(金)～25 日(日)
会場:筑波大学(茨城県)
大会長:中田由夫(筑波大学　教授)
大会テーマ:すべての人々とコミュニティの健康に資する健康支援と運動疫学

日本運動疫学会 https://jaee.jp/

◆第 29 回日本運動疫学会学術総会（第 28 回日本健康支援学会年次学術大会との合同開催）
会期：2027 年 4 月 23 日（金）～25 日（日）
会場：筑波大学（茨城県）
大会長：中田由夫（筑波大学　教授）
大会テーマ：すべての人々とコミュニティの健康に資する健康支援と運動疫学

一般社団法人口腔衛生学会 http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/

■学会声明/提言/意見・回答 https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/
◆提言 2025.01「公的統計における咀嚼に関連する食行動指標の概況と意義について」
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_202501.pdf 地域口腔保健委員会

◆学会声明
「う蝕予防のためのフッ化物応用のさらなる推奨について」（2025.09.10）
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20250910.pdf
生活習慣病予防と歯科口腔保健特定健診・特定保健指導における歯科口腔保健の展開
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20230519.pdf
◆感染症法における新型コロナウイルス感染症の5類移行後の集団フッ化物洗口のさらなる推進 について https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20230511.pdf?20230515

◆一般市民のみなさまや行政、学校関係者の方々に役立つ情報をご紹介しています。
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/general/

◆意見・回答「乳幼児期における親との食器共有について」
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20230901.pdf

◆日本口腔衛生学会ニュースレターVol.12
https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/publication/newsletter/

◆地方団体総会・学術大会　https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/meeting/local/

◆第 76 回日本口腔衛生学会 学術大会
会期：2027 年 5 月 14 日（金）～16 日（日）
会場：北九州国際会議場
大会長：安細敏弘

日本健康教育学会 http://nkkg.eiyo.ac.jp/

◆第 35 回日本健康教育学会学術大会
会期：2027 年 7 月 17 日（土）～18 日（日）
会場：J:COM ホルトホール大分
テーマ：健康教育ルネッサンス
大会長：藤内修二（大分県東部保健所）

日本衛生動物学会 https://www.jsmez.org/

日本衛生動物学会は、カ、ハエ、ダニ、ネズミなど重要な感染症を媒介する衛生昆虫・動物、毒蛇、蜂、毒蛾などの有毒動物、ゴキブリ、ユスリカなどの不快昆虫類を研究対象とする衛生動物学の進歩、普及を図る事を目的として活動している学術団体です。